

<指導上のポイント>

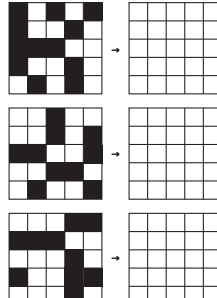
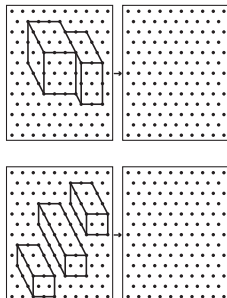
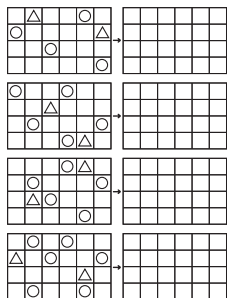
すべての人間は、違った空間感覚を持っています。空間感覚は、生得的なものではなく、後天的に自らが創りあげていくものです。空間能力（感覚）は、数や言語の基礎能力をなす、とても大切な能力です。空間感覚を育成することなくして、思考力、問題解決能力は育ちません。とにかく、空間感覚を高いレベルに育てましょう。

この問題集では、1～7ページの<平面位置>問題が特に大切です。左のお手本の○、△を同じ位置に書き写せない子供は、位置を正しく捕らえられず、空間感覚が育っていないと思われます。このような子供は、無理をせず少しずつ空間感覚を鍛えてあげましょう。この問題ができない子供には、間違わずに完全にできるようになるまで、<平面位置>の問題を毎日2～4問ずつやらせるのよいでしょう。

<平面位置>が間違わずにできるようになったら、8～14ページの<点描写>を、毎日一問やらせましょう。<点描写>を間違わずにできるようになれば、相当高いレベルまで能力を高めることができます。そうなれば、15～21ページの<面描写>は簡単にできるでしょう。

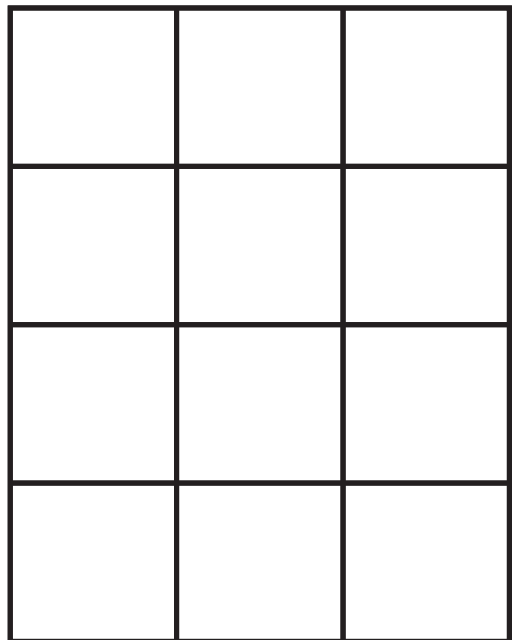
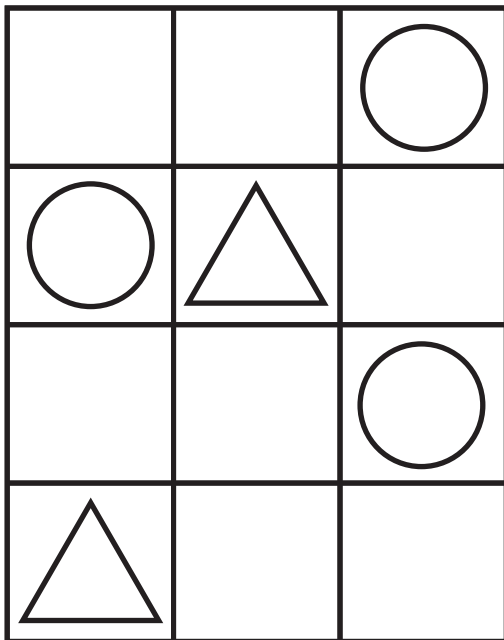
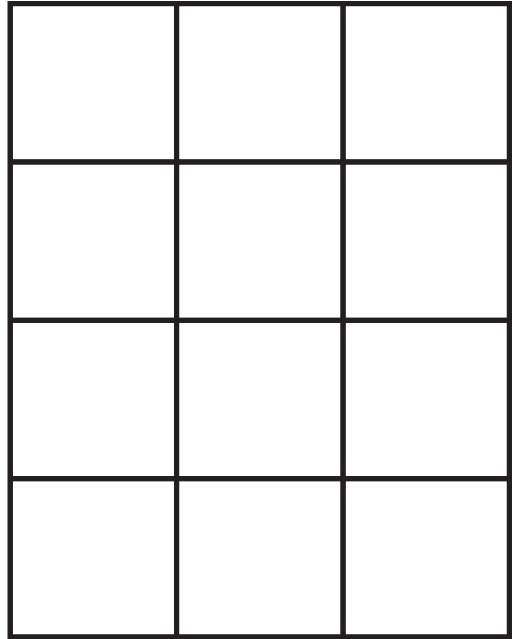
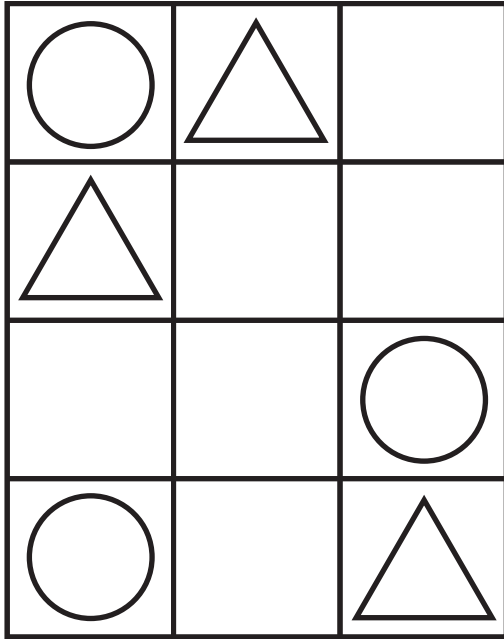
<点描写>の問題は、完全にできるようになっても、時々チェック問題として使ってください。能力とはその時の状況によって差がでるものです。能力が低下しているかどうかのチェック問題として<点描写>は最適です。さらに、<点描写>をすると注意力、関係把握能力が高まりますので、テストの前に一問解くと、単純ミスが少なくなります。

22～28ページは、上下、左右の位置関係を問う問題です。このような問題をやれば、正しい空間位置把握能力がないと、正しい言語能力が育たないということが理解していただきたいと思います。



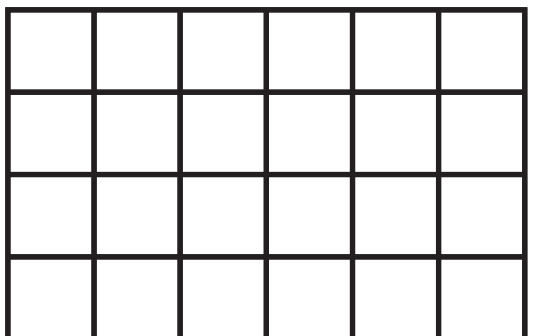
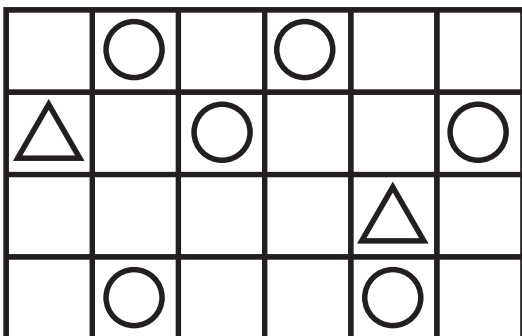
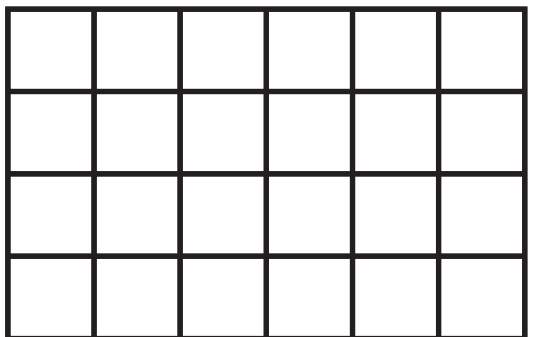
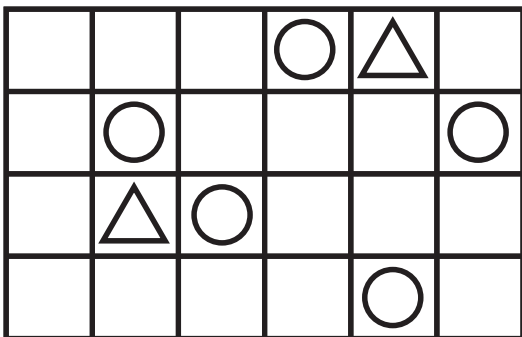
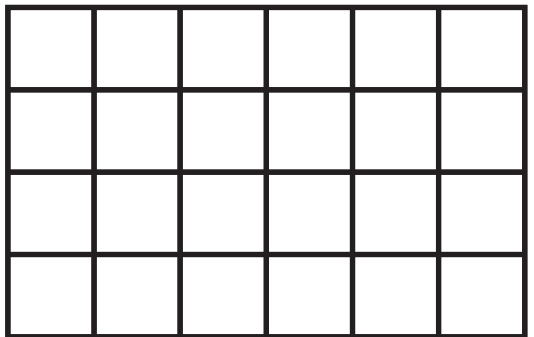
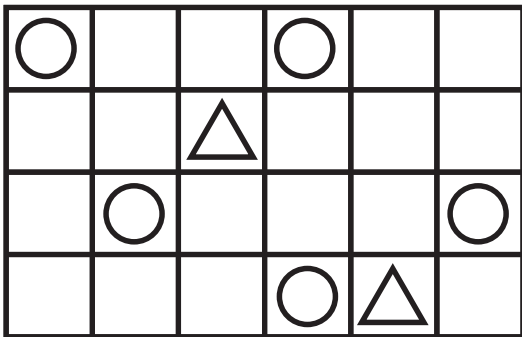
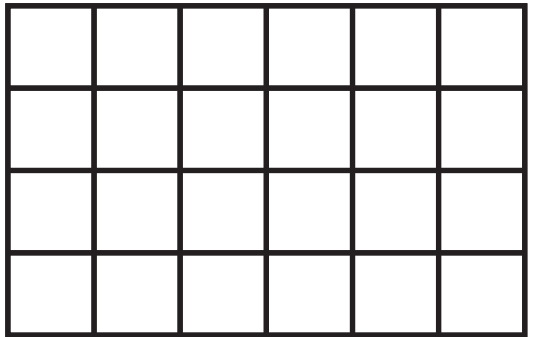
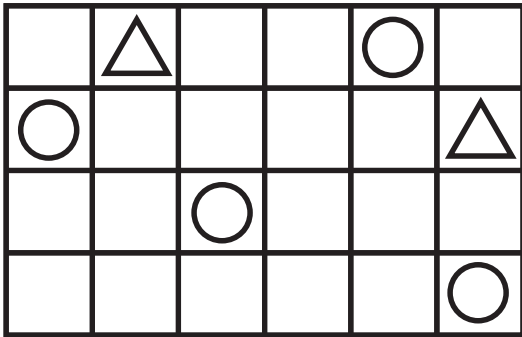
平面位置 1

左のお手本どおりに、右に形をかきましょう。



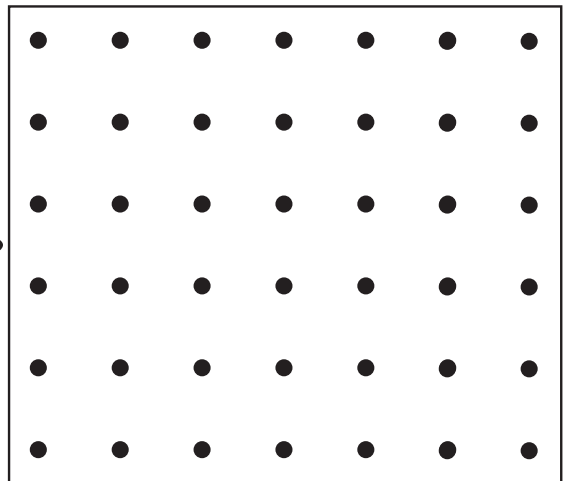
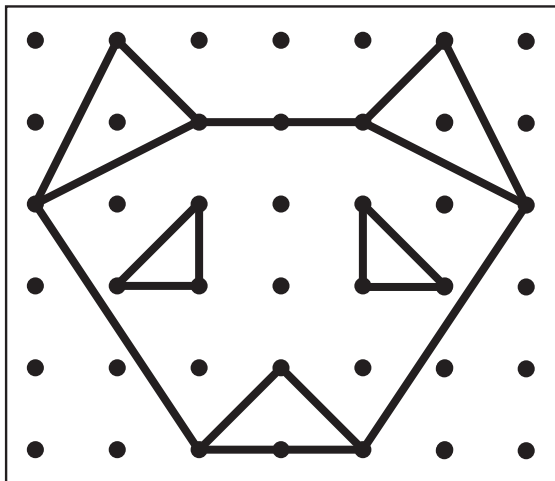
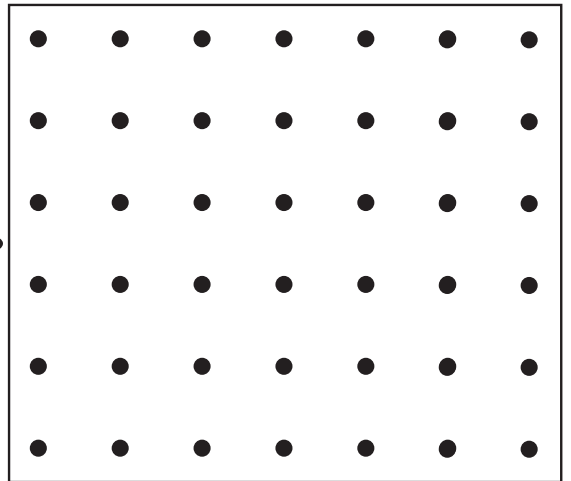
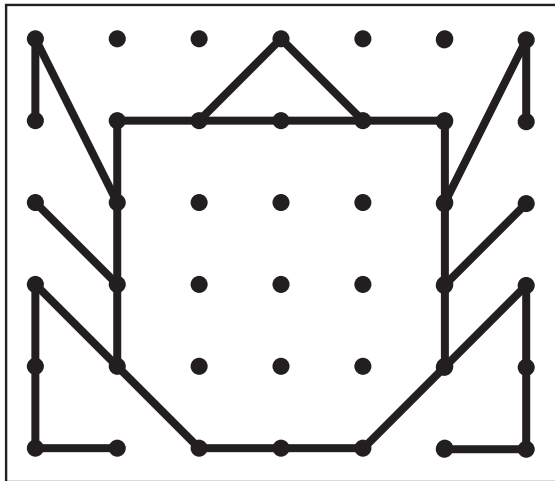
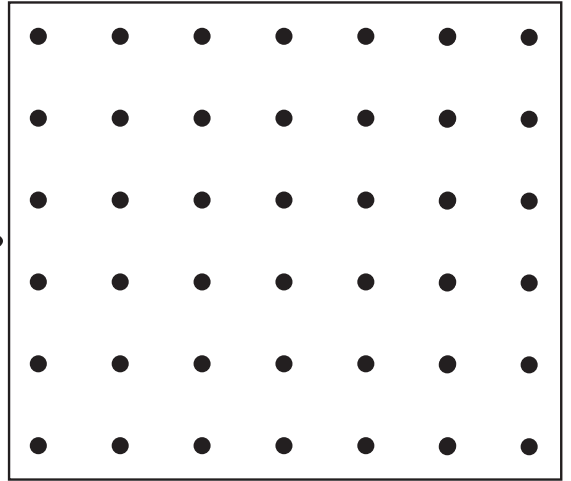
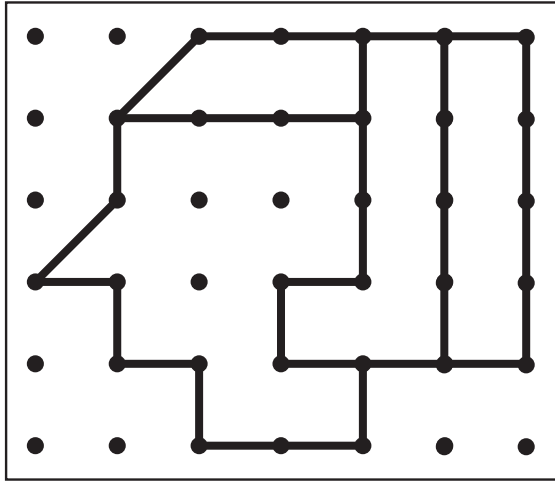
平面位置 6

左のお手本どおりに、右に形をかきましょう。



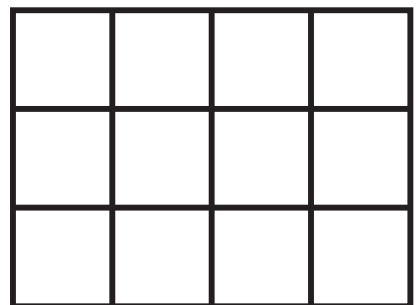
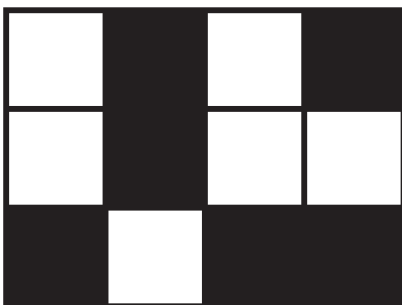
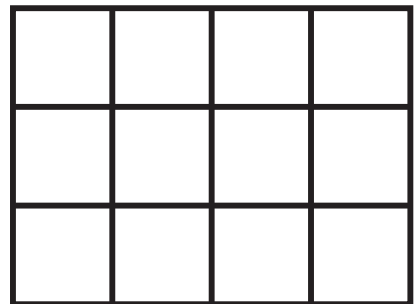
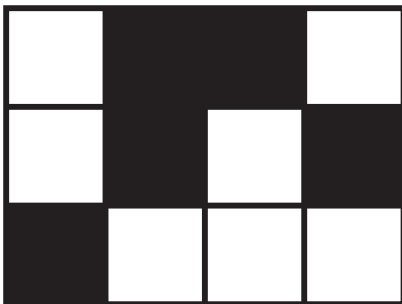
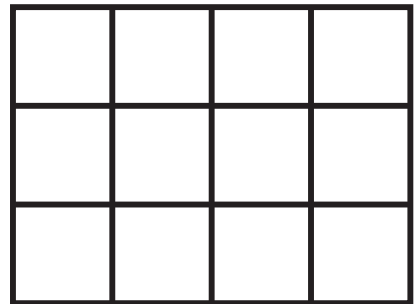
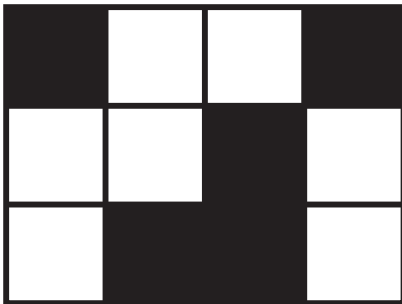
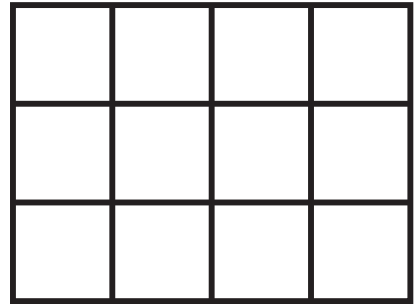
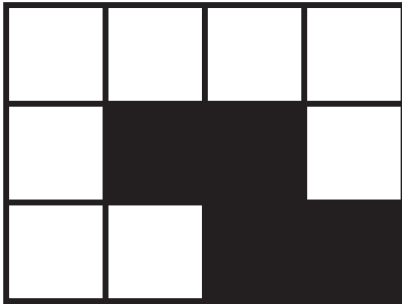
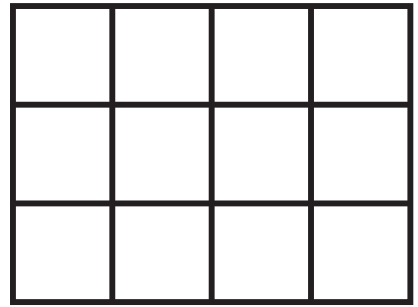
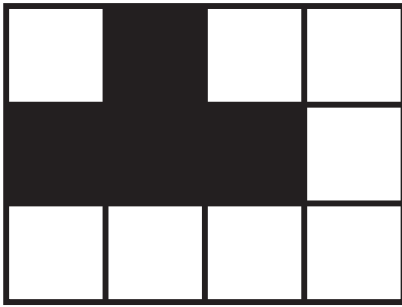
点描写 4

左のお手本どおりに、右に形をかきましょう。



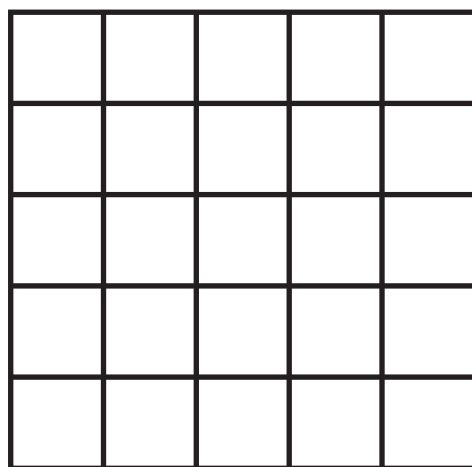
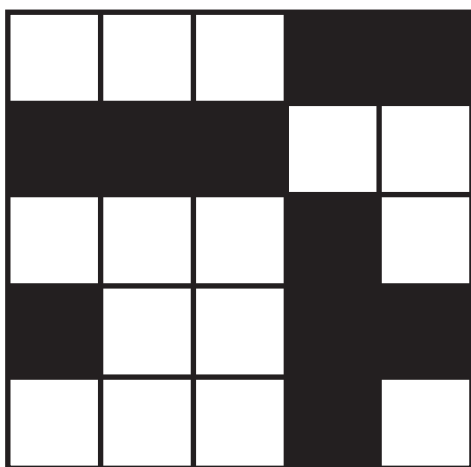
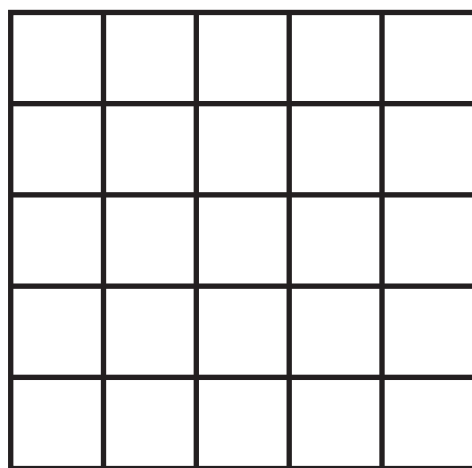
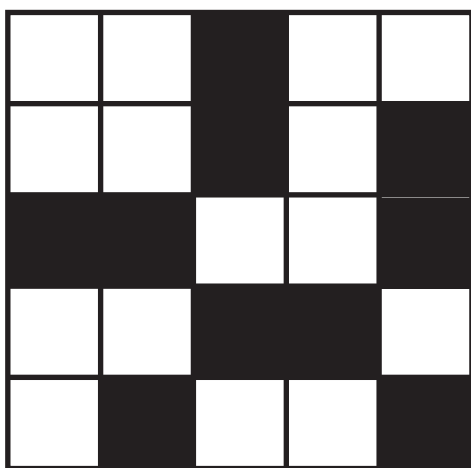
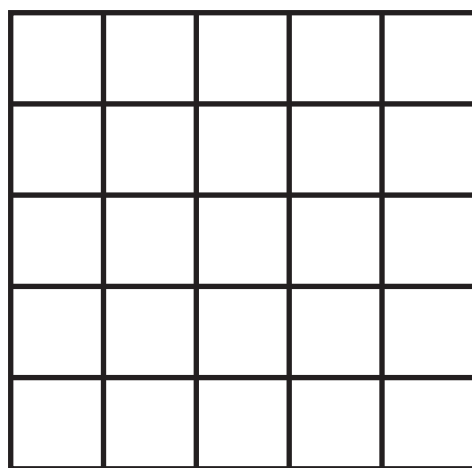
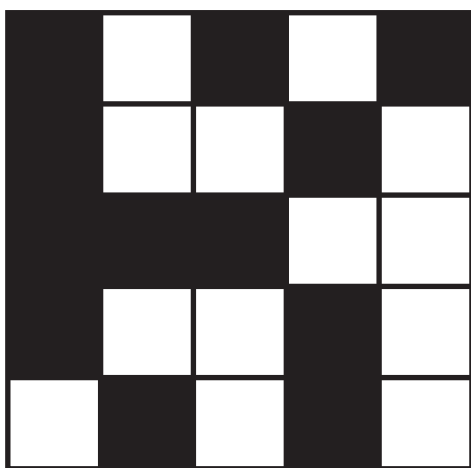
面描写 1

左のお手本どおりに、右に形をかきましょう。



面描写 6

左のお手本どおりに、右に形をかきましょう。



動物マンション 4

- ① 1番上の階の右端の部屋に住んでいるものに、○をしてください。
- ② 下から2番目の階の左端の部屋に住んでいるものに、△を、
- ③ 上から3番目の階の真ん中の部屋に住んでいるものに、□を、
- ④ 4階の左から2番目の部屋に住んでいるものに、×をしてください。

